

グラフィックサービス

GS
JaGra

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

○ 巻頭企画

紙も! 古墳も!

堺を楽しく盛り上げたいハウユウ(株)の取り組み

——日印産連・地方創生事業事例発表会より①

● 特別寄稿

謄写版と私

——Atelier 10-48主宰/版画家 神崎智子

● NEWSとお知らせ

ジャグラ文化典 高知大会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止へ万全の対策を!

2021年丑年 年賀状デザインコンテスト募集開始

GS
No.821
2020
04

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中。
紙媒体より1週間早い毎月中旬に
ご覧いただけます。バックナン
バー閲覧もここから!



<https://www.jagra.or.jp/>

なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。

現在、コロナ禍の影響があらゆる業種・業界に広がっています。先行き不透明な状況で今後の日本経済、そして私たちの生活は大きく変化することが予想されます。

緊急事態宣言が発令される中ではありますが、私たちはこの変化と、そこから生まれるチャンスを捉えて生き残っていかねばなりません。ジャグラではできる限り支援情報を発信していきますので、ご活用ください。まずは皆さん健康に留意して頂ければと思います。

新型コロナウイルス関連情報
特設サイトを開設

ジャグラでは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をまとめた特設サイトを開設しましたのでご利用ください。

<https://www.jagra.or.jp/covid-19/>

CONTENTS

●緊急のお知らせ

01 ジャグラ文化典 高知大会 中止のお知らせ

08 新型コロナウイルス感染防止へ 万全の対策を!

事業所における感染防止対策例などを紹介

●巻頭言

01 シマキリ

——高知大会実行委員長 / (有)西村贍写堂 西村 啓

●巻頭企画

02 日印産連・地方創生事業事例発表会より①

紙も!古墳も!

堺を楽しく盛り上げたいハウユウ(株)の取り組み

——代表取締役社長 田中幸恵

●特別企画

24 特別寄稿 贍写版と私

——Atelier 10-48主宰/版画家 神崎智子

●NEWSとお知らせ

15 (一社)日本グラフィックサービス工業会 第55回定時総会開催通知

16 理事会&委員会通信

総務委員会、第五回理事会(書面理事会) 議事録より

20 4月から働き方改革本格始動

22 2021年丑年 年賀状デザインコンテスト募集開始

印刷・紙づくりを支えてきた

23 書籍案内『34人の名工の肖像』ほか

29 ジャグラBB HOTNEWS

20 コラム

22 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内

28 事務局日誌と今後のスケジュール

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

シマキリ

高知大会実行委員長 / (有)西村贍写堂 西村 啓



本日は曇天、令和2年3月28日、土曜日。

東京都知事は「首都封鎖」、総理大臣は「緊急事態宣言」。そんな未経験な事をほのめかす報道ばかりで世の中は更に自粛ムード一色。週初めにジャグラ本部から全国の会員各位へお知らせした「高知大会開催宣言」のファクスも霞んでしまいました。機関誌4月号が発刊される頃にはどうなっているのでしょうか。

しかし実はそんな心配とは裏腹に私はこれまでの1年以上の途中過程を十分に楽しんでいますので、もしドタキャンになっても悔いはありません。それどころか、この先ひょっとした事があるかもしれないのだったら、今の内にもっと面白くしてやろうではないかと画策しています。

ただ、私の思いとは別に、今回の高知大会の事で何かとお氣遣いくださっている全国のジャグラ会員の方々に対して誠に申し訳ないので、6月に文化典・総会を開けなくても日を改めて高知に来て楽しんでいただく計画を独自に練っています。

健康面だけでなく経営面も考えれば不安が募るばかりですが、せめてそんな気分を切り換えられる機会を作りますので、高知大会実行委員一同にご期待ください。

そんな思いを首都・東京から遠く離れた土佐の地で抱いています。

◎補足

高知といえば鯉ですが、土佐人はタタキより断然サシミ好き。これってご存知ですよ……。しかも脂の乗った大型のものでなく、あっさりとした小型の鯉の刺身は何切れでも食べられて最高です。地元ではこれをカツオと呼ぶ“シマキリ”と言います。残念ながら6月6日総会後の大おきゃく(懇親会)ではお召し上がりいただく事が出来ません。シマキリは小型ですので、大人数の宴会ではまず足りません。すみませんが大丈夫。6月7日からの土佐旅行では日帰り組にも一泊組の方々にも用意できると思います。会場の三翠園から車で1時間ほど離れた小さな漁村で、獲れたてのシマキリをみんなで食べましょう。

更に一泊組の方々には、運氣の上がるっておきの場所にご案内します。そこには龍馬が剣術修行で使用した木刀が保管されています。それを直に持って思い思いに振っていただけます。150年の時を超えて龍馬が皆様に乗り移る経験を味わってください。地元でも知られていないパワースポットですので、この機会に是非いかがでしょうか?

緊急のお知らせ

ジャグラ文化典 高知大会中止のお知らせ

6月5日~8日に予定していましたジャグラ文化典 高知大会は、4月13日にジャグラ本部が中止を決定しました。

高知大会実行委員会としては、予定通りの開催や延期はこの状況下では難しいとの事で今回の判断となりました。

高知大会を楽しみにくださっていた会員各位には深くお詫び申し上げます。

紙も！古墳も！

堺を楽しく盛り上げたい
ホウユウ(株)の取り組み

代表取締役社長 田中幸恵



地域情報サイト つーる・ど・堺
<https://toursakai.jp/>



事例発表する
田中社長

ジャグラなど印刷関連団体 10 団体で組織する（一社）日本印刷産業連合会は、去る 2 月 10 日、東京の印刷会館において、『じゃばにうむ 2020 印刷産業の地方創生事業事例発表会』を開催し、印刷会社が取り組む地方創生・地域活性化の事例発表を行いました。全国から選りすぐりの 6 社が、それぞれの地域で自社の強みを活かして展開している好事例を披露しましたが、ジャグラからも栃木の株みやもとさんと大阪のホウユウ(株)さん（写真）が選ばれ、発表を行いましたので 2 回に分けて誌上でご紹介いたします。

【じゃばにうむ / Japaneumn】 https://www.jpfi.or.jp/topics_detail6/id=184
日印産連が構築する印刷産業界のインバウンド事業およびインバウンドニュースを扱う情報共有・情報交流 Web サイトのこと。印刷産業各団体・企業のリソースを中心に、印刷会社が取り組む地域連携や産学官連携によるインバウンド事例を紹介しながら、印刷産業の事業領域の拡大をめざす。日本の地域産業の活性化と同時に印刷産業の新たな価値創出を図り、事業領域拡大をめざす手がかりを発掘する。「じゃばにうむ」とは、Japan Printing Alliance News Columns を縮めた造語。

■ 当社について

大阪府堺市——5 世紀に大小の古墳が築かれ、中世から近世には交易や物作り中心の商工都市、戦後は堺泉北臨海工業地帯が高度経済成長期を牽引するなど、いずれの時代にも特徴ある都市として 1000 年近くにもわたって発展してきた。当社はこの堺の中心地区で創業し、約 44 年となる。

モノクロの組版や軽印刷を業務の中心に据えてきたため、これまでは仕事内容も役所や大学の紀要や名簿、同業他社からの下請け仕事が主な業務であった。

しかし、国語教諭や役所の職員等、徐々に地域に関わるお客様からの依頼が入り、「与謝野晶子百首かるた」「堺かるた」「堺意外史 100 話」等の出版物につながった。これらは全て当社で出版・販売をしている。

■ 地域情報に特化した つーる・ど・堺

これら地域を紹介する出版物を宣伝する手段として、地域情報を発信する『地域情報サイト つーる・ど・堺』（以下「つーる・ど・堺」）を立ち上げた。今では出版物の情報だけではなく、地元の店舗やギャラリー、スポーツチーム、当社運営のイベントなど、多彩な情報を発信するサイトに成長している。その取材を通じて地域の商店主や役所の地域担当、NPO 法人



与謝野晶子百首かるた

堺かるた

堺意外史 100 話

ペーパーフリマ案内チラシと「紙の詰め放題」の様子

など、様々な活動を行っているキーマンに当社を知ってもらえるきっかけにもなった。

そのつながりを活かし「つーる・ど・堺」事業を地域密着の仕事を中心に請け負う会社になりたい、と考えるようになった。現在は堺に関するイベントや印刷物やお土産物、WEB の企画・制作の受注が中心となっている。

■ ペーパーフリマが新事業のきっかけ

もう一つの事業は「紙と堺のコンセプトカフェ 紙 cafe」（以下「紙 cafe」）の運営だ。当社の活動の起点にはほぼ、この「紙 cafe」がからんでいる。

「紙 cafe」立ち上げのきっかけとなったイベントが『印刷屋さんのペーパーフリーマーケット』（以下「ペーパーフリマ」）。ある日「つーる・ど・堺」を通して知り合ったアーティストが当社を訪ねて来たとき、断裁して残った紙を見て「かわいい！」と叫んだ一言が全ての始まりだった。

我々にはタダのゴミなので「こんなんほかすほどあるで」と言うと、「じゃあ、売ろう！」と返され、正直「ええ、売んの？」と思ったのだが、彼女の熱意を信じ、半信半疑で第一回目の『ペーパーフリマ』を当社駐車場で開催。余り紙や断裁してトンボが残った紙で雑貨を作って販売した。結果、ブログ等で軽く広報

をしただけなのに、70 人もの集客があった。

今までクライアントや同業者と話す機会はあっても、エンドユーザーと話す機会はほぼ皆無だったので、余り紙を喜んで買ってくれるお客様が居ることが純粋にカルチャーショックだった。その気持ちが「紙 cafe」の出店へとつながることとなった。

ちなみに「ペーパーフリマ」は、2019 年に 18 回目を数え、毎回 500 人を集客できる地域の人気イベントに成長。現在が一番のウリは「紙の詰め放題」。早朝から人が並ぶ人気コンテンツとなっている。

当社の現在の体制は、本体である「ホウユウ(株)」、「つーる・ど・堺」、「紙 cafe」。この 3 つの事業がそれぞれの分野で補完し合って地域の仕事をしている形を取っている。



ホウユウ(株)の現在の体制

紙も！古墳も！



紙cafe



堺柄 (円内は拡大図)



堺 カミモノ各種

紙cafeで地域ブランドを

「紙cafe」は当初、紙や紙雑貨を仕入れて販売したり、紙や地域に関わるワークショップを行っていた。また、地元飲食店さんと協力して、カフェメニューもいくつか開発して提供していた。

しかしお客様が一番「紙cafe」に求めていたのは、堺から地元へ帰省したり、市外から来た友人が訪ねてきたりしたときに気軽に渡せる、ちょっとした堺オリジナルのお土産品、ということがわかってきた。

そこでまず、「堺のオリジナル雑貨ブランドを作ろう！」と考えた。堺といえば、地元民が真っ先に連想するようなランドマークや名物をイラスト化して「堺柄(さかいがら)」と名付け、その堺柄を使った紙雑貨のシリーズを企画・販売し始めた。現在一筆箋やハンコ、コースターなど、約80種類のアイテムが揃う。

これらの事業を行うに当たっては、つくづく印刷会社で良かったと実感している。リーフレットから雑貨まで、作りたいと思った物がすぐ作れる業種は印刷業以外に無いと思う。

ただ、手当たり次第に無計画に作りまくっていたため、当時の社長(現会長)から「ええかげんにしなさい！」と怒られたのは余談であるが。

誕生してから6年ほどであるが、いくつか定番商品もでき、地域の団体にお土産や記念品として使ってもらえたり、書店に置いてもらえたりと徐々に広がりを見せつつある。

特に売れ筋は「古墳」関連の商品。紙cafeとつる・ど・堺は、『百舌鳥・古市古墳群』が2019年7月にユネスコ世界遺産に指定される数年前から「これからは古墳が来る！」ということを感じ、「古墳推し」-古墳業界(?)用語で「墳活(ふんかつ)」-をつづけ、今では南大阪でも有数の古墳のお店として、少しは名前を知られるようになっている。

もずふるサブレ誕生

そんな墳活の中で誕生したのが「もずふるサブレ」だ。「堺の新たなお土産品」として堺商工会議所から認定をうけている、『百舌鳥・古市古墳群』にちなんだお菓子である。



もずふるサブレ

名前の「もずふる」は、『百舌鳥・古市古墳群(もずふるいちこふんぐん)』の読み方が難しく長いので、「もずふる」という略称で呼ばれていることから採用した。

食紅インキのプリントクッキーなので、広い意味では印刷物とも言える。もずふるサブレ発売をきっかけとして、包装紙やパッケージ制作の依頼なども声がかかるようになった。

発売と同時期には独自フェス「●堺古墳祭り▲」を開催。古墳や古代にちなんだ雑貨を作るアーティストの販売ブースや、古代衣装や古代髪体験ワークショップブース、古墳弁当や古墳キッシュなどの食品販売ブースなどがならぶ。

現在第3回まで行っているが、毎回約3000人以上の集客がある人気イベントであり、多くの方に古墳の大切さを伝えるきっかけになると自負している。

このようなイベントでも印刷物は常に発生する。いかにマネタイズして印刷や広報の費用を回収していくかが今後の課題でもある。

古墳や地域の活動の中で気づいたこと

百舌鳥・古市古墳群がユネスコの世界文化遺産に登録されることが現実視され、我々も含めてお祭り気分になっていたとき、ふと気づいてしまった。まともに百舌鳥・古市古墳群のお土産品がうちの「もずふるサブレ」くらいしかないことに。

これから大勢来るであろう観光客に提供できる飲食



「堺古墳祭り」の案内チラシ

店、観光バスを止められる大型駐車場、トイレや自動販売機のある休憩所など、普通の観光地にあるべき施設が堺にはほとんど用意されていないことにも気づき、さらに愕然としてしまった。

世界遺産登録を受けて、やっと当社以外にも古墳土産開発に着手する企業も出てきたのに、観光客と地元企業を結ぶお土産物屋もほぼない状態である。

これには、帝のおわす「御陵」である古墳で商売してはいけない、という暗黙の忖度が働いているからということも大きい。しかし最大の問題は、百舌鳥・古市古墳群に人が集まって、地域や企業が潤えば、そのお金を古墳や周囲の景観保全に回せる、という認識が地域住民や自治体にまだまだ浸透していないことだ。

ホウユウでできること

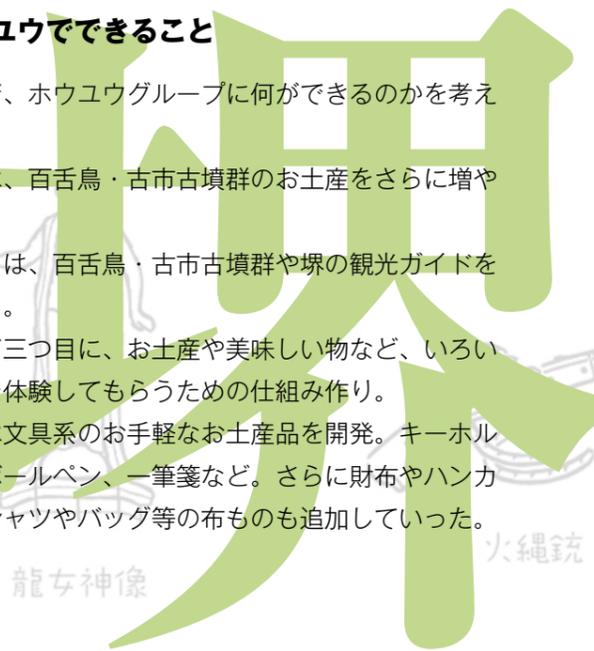
そこで、ホウユウグループに何ができるのかを考えてみた。

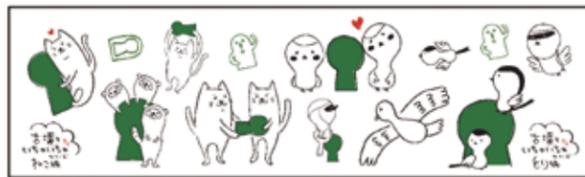
一つは、百舌鳥・古市古墳群のお土産をさらに増やすこと。

二つ目は、百舌鳥・古市古墳群や堺の観光ガイドを行うこと。

そして三つ目に、お土産や美味しい物など、いろいろな堺を体験してもらうための仕組み作り。

まずは文具系のお手軽なお土産品を開発。キーホルダーやボールペン、一筆箋など。さらに財布やハンカチ、Tシャツやバッグ等の布ものも追加していった。





古墳商品は3ブランドで展開中



堺の和体験 知輪 -chirin-

現在作っているブランドは三つ。「もずふるみやげ」と「古墳といちゃいちゃシリーズ」「古墳めぐり」。世界文化遺産勧告があった5月から現在までに、古墳みやげは100アイテムを越えるほどになった。

次は、古墳のガイドツアー。これまでの墳活で培った、古墳マニアの人脈＝古墳好きの友達＝墳友(ふんとも)を駆使し、通り一遍ではない、マニアックでキャッチーな古墳めぐりツアーを企画している。

ガイド候補には古墳の冊子を書いたライターや、町おこし団体の職員など、多種多才な人材が集まっている。すでに何度か行っているが、毎回好評をいただいている。

最後が「堺の和体験 知輪 -chirin-」だ。

本当の堺を知ってもらいたい。

堺のことをもっと多くの人たちに広めるため、印刷会社でもある我々にできることは何だろうか？という問いは、古墳と並んで当社のテーマの一つだった。そんな中、出した結論の一つがこの事業である。

「堺を知り、人も場所も輪になり繋がること」をコンセプトに、堺ならではの和の文化を体験できる「場」として、紙cafeを本拠地として始動する。

古代からの港町かつ、中世からの文化町でもある堺には、古墳以外にもご紹介したい所がたくさんある。その素晴らしい文化や歴史、美味しい食べ物や名所な

どを、まちあるきを中心に和装体験や和菓子作り、お茶体験などをプラスして積極的に紹介していく。

よく「堺愛が重すぎる」といわれる当社だが、役所や公的施設ではない民間企業だからこそ、堺のために自由に動けることが強みだと感じている。

堺や古墳の紹介のことはハウユウにまかせよう！“堺愛”にあふれたハウユウなら何かおもしろいことをやってくれるはず！

そんな風に、地域に必要とされる会社になることが、最大の目標である。

発表会の模様がYouTubeでご覧いただけます

<https://www.jfpi.or.jp/topics/detail/id=4190>

各社の発表だけでなく、パネルディスカッションの様態も、参考になりますので、ぜひご覧ください。

“じゃばにうむ 2020”で検索してください



発表6社のうち2社がジャグラ会員企業
左から2人目が栃木・みやもとさん、5人目が大阪・ハウユウさん

FUJIFILM
Value from Innovation

世界が指名する、クオリティ。

「Jet Pressで印刷するなら、それ以上の説明は不要だ」

欧州の高級自動車メーカーのプレゼンでは、この一言で受注が決まったという。
世界の高級ブランドが指名する圧倒的な品質を、ご自身の目でお確かめください。



NEVER STOP

B2 サイズ枚葉型インクジェットデジタルプレス

Jet Press 750S

■ Jet Press 750Sの出力サンプルを差し上げます。品質の高さを、ぜひ直接お確かめください。

FFGS Jet Press



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

新型コロナウイルス感染防止へ万全の対策を！

新型コロナウイルスの感染拡大は止まることなく、4月7日には都市部で急速に拡大している事態を受けて、東京など7都府県を対象に、法律に基づく「緊急事態宣言」が出されました。

ジャグラ会員の皆さまには、新型コロナウイルスに感染することがないように対策をお願いします。また感染した場合は、感染者の2～3週間の隔離、濃厚接触者の割り出しと検査・隔離、事業所の消毒または閉鎖等が考えられますので、十分に気を付けてください。特に取引先と接触する従業員の場合は、取引先にも迷惑を掛ける事態となりますので、重ねて気を付けてください。

ここでは、対策を講じている印刷関連事業者の例を一部紹介しますので、各都道府県のHP等で公表されている資料などと併せて、自社の対策を構築してください。

×

事業所における感染防止対策の一例

- ①総務は、清掃・消毒を実施する。
- ②社員は、日常生活において次ページ「クイック・チェックポイント/守ってほしい“4箇条”」に従い行動する。
- ③社員は、起床時に体温を測定し、総務にメールする。
→熱が37.5度以上ある場合は、自宅等で安静にし、体調を会社に連絡する。
→2日程経過しても回復せず、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が複数ある場合は、次項「疑似症者」に従う。
- ④社員は、「体温記録表」に日時・体温のほか、当日の社外接触者を記入し、新型コロナウイルス感染症が発生した場合に濃厚接触者を追跡できる記録を残す。
- ⑤会社の入室時は、事前に手洗い・手指消毒およびマスクの着用を徹底する。
- ⑥社員は、執務室内で出したゴミは各自で所定のゴミ箱へ分別廃棄する。

疑似症者：感染の疑いがある場合

◎症状・検査

以下の症状が出た場合、居住地域の保健所等に問い合わせ、指示に従う。

- ①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合。
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
- ②強い倦怠感や呼吸困難がある場合。
- ③新型コロナウイルス感染の問い合わせおよび検査を受けた者は、結果を総務に連絡する。
→総務はその結果を上司および社長に報告する。

◎診断結果

- ①陰性の場合：2週間は自宅待機。
- ②陽性の場合：医師の指示に従い、陰性になり体調が回復するまでは出勤停止とする。

社員が感染した場合

- ①総務を通して保健所に相談し、保健所の指示に従って清掃・消毒を行う。
- ②業務等は、非感染者による縮退運営を行う。
- ③テレワークができる場合は、基本的にテレワーク作業を行う。
- ④総務は、「体温記録表」により、当該社員の過去2週間前からの社外の接触者を確認し、濃厚接触者を把握する。
- ⑤総務は、2週間前までに訪問した取引先に電話およびメールにて、感染者および会社の対応を連絡する。
- ⑥感染者の発生後2週間を目途に、会社は通常の業務体制に戻す。再発の可能性が考えられるためテレワーク体制は維持する。

クイック・チェックポイント

- 1 自分自身の健康管理（毎日起床時の体温測定など）。
- 2 人が多く集まる室内での集会等の参加は出来るだけ控える。
- 3 不特定多数の人の触れるものに接した後の手指衛生。
- 4 テレワークなどによる自宅勤務の活用。
- 5 37.5℃以上の発熱、咳、倦怠感がある場合には自宅安静。
- 6 発熱、咳、倦怠感がある場合にはマスク着用と手指衛生。

守ってほしい“4箇条”

- 1 発熱・咳がみられる場合には自宅安静
自分を守る、周りの人を守る。
- 2 近距離（手の届く範囲）での濃厚接触は避ける。症状が無い人からの感染の可能性もあります。立食パーティー、酒席、ロックコンサートなどはリスクを高めます。
- 3 感染対策の基本は咳エチケットと手指衛生です。手の触れるものは汚染している。マスクは万能ではありません。
- 4 感染者に対する差別がないように。

新型コロナウイルス関連情報 特設サイトを開設

ジャグラでは、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報をまとめた特設サイトを開設しましたのでご利用ください。

<https://www.jagra.or.jp/covid-19/>

◎事業者対策 その1

- ①総務は、当該社員が陽性判定前2週間以内の訪問先を把握する。
- ②総務は、該当企業に担当者が新型コロナウイルスの陽性反応があったことを伝え、各都道府県の「新型コロナウイルス対応方法」をプリントアウトし、PDFをメール添付で送付する。取引先での対応者等の濃厚接触者に添付資料の配布を依頼する。
→「濃厚感染者」の定義は後述

◎事業者対策 その2

- ①総務は社内で当該社員が使う備品等を消毒する。
- ②総務は、当該社員が陽性判定前2週間以内の出勤日を把握し、濃厚接触の社員を把握する。

- ③総務は、濃厚接触の可能性のある社員に、対応資料等の配布またはURL送信する。(資料は各都道府県HP等より取得)

◎社員等対策 その1 (感染者)

該当者の新型コロナウイルス感染症が完治するまでの期間は全ての業務を禁止する。

◎社員等対策 その2 (非感染者)

該当者が感染判明の2週間以内に予定している全ての業務は別の社員の代行を検討する。

新型コロナウイルス感染対策 / 清掃・消毒についてのまとめ

目的

社員・取引先等訪問者への接触感染の防止

効果

新型コロナ感染者又は疑似症者が咳やくしゃみを手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後に、机、ドアノブ、スイッチなどを触れると、その場所にウイルスが付着する。飛沫に含まれるウイルスは、その場所である程度感染力を保持し続けると考えられるが、清掃・消毒を行うことにより、ウイルスを含む飛沫を除去することができる。

方法

- 1) 通常の清掃に加えて、水と洗剤を用いて、特に机、ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、テーブル、椅子、エレベーターの押しボタン、トイレの流水レバー、便座等人がよく触れるところを拭き取り清掃する。頻度については、どの程度、該当者が触れる可能性があるかによって検討するが、最低1日1回は行うことが望ましい。消毒や清掃を行った時間を記し、掲示する。
- 2) 社員が発症し、その直前に職場で勤務していた場合には、保健所・総務部・ビル管理者の指導を受け、当該社員等の机の周辺や触れた場所などの消毒剤による拭き取り清掃を行う。

◎以下は具体的実施例

作業者は、必要に応じて市販の不織布製マスクや手袋を着用して消毒を行う。作業は、流水・石鹸または速乾性擦式消毒用アルコール製剤により手を洗う。清掃・消毒時に使用した作業着は洗濯、ブラシ、雑巾は、水で洗い、触れないようにする。

①食器・衣類・リネン

食器・衣類・リネンについては、洗浄・清掃を行う。衣類やリネンに該当者由来の体液（血液、尿、便、喀痰、唾液等）が付着しており、洗濯等が不可能である場合は、当該箇所をアルコール製剤を用いて消毒する。

②壁、天井の清掃

該当者由来の体液が明らかに付着していない場合、清掃の必要はない。該当者由来の体液が付着している場合、当該箇所を広めに消毒する。

③床の清掃

該当者が滞在した場所の床については、有機物にくるまれたウイルスの除去を行うために、濡れたモップ、雑巾による拭き取り清掃を行う。明らかに該当者由来の体液が存在している箇所については、消毒を行う。

④事業所の周辺の地面（道路など）

人が手であまり触れない地面（道路など）の清掃は、必要性は低いと考えられる。

参考：消毒剤について

コロナウイルスには次亜塩素酸ナトリウム、イソプロパノールや消毒用エタノールなどが有効である。消毒剤の噴霧は、不完全な消毒やウイルスの舞い上がり、消毒実施者の健康被害につながる危険性もあるため、実施するべきではない。

①次亜塩素酸ナトリウム

次亜塩素酸ナトリウムは、原液を希釈し、0.02～0.1w/v%（200～1,000ppm）の溶液、例えば塩素系漂白剤等を用いる。消毒液に浸したタオル、雑巾等による拭き取り消毒を行う、あるいは該当部分を消毒液に直接浸す。

②イソプロパノール又は消毒用エタノール

イソプロパノール又は消毒用エタノールを十分に浸したタオル、ペーパータオルまたは脱脂綿等を用いて拭き取り消毒を行う。

以上

濃厚接触者の把握および対応

- ①会社においては、以下に該当する者を「濃厚接触者」とする。
 - a) 新型コロナウイルス感染症に感染した社員が過去2週間以内に接触した取引先の面談者。
 - b) 新型コロナウイルス感染症に感染した社員と過去2週間以内に同行した社員。
 - c) 新型コロナウイルス感染症に感染した社員と過去2週間以内の同じ時間帯に同室にて勤務した社員等。
- ②総務は、取引先および濃厚接触の可能性のある社員に、対応資料等の配布またはURLを送信する。（資料は各都道府県HP等を参照）
- ③上司（代行者でも可）は、「濃厚接触者」にメール等により、感染者と最終接触日から2週間の期間は出勤停止を求める。
- ④「濃厚接触者」は出勤停止の期間中毎朝体温を測定し、

結果を総務にメールにて連絡する。

- ⑤「濃厚接触者」は、「感染者」と最終接触日以降、2週間の間で「疑似症者」に該当する症状が出なければ、上司（または代行者）に連絡をとり出勤の可否を確認し、指示に従う。

【参考】

- ①濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は二つあり、「距離の近さ」と「時間の長さ」です。
- ②必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（目安として2メートル）で一定時間以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。
- ③新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では、対面で人と人との距離が近い接触（互いに手を伸ばしたら届く距離で2メートル程度）が、一定時間以上続き、多くの人々との間で会話などが交わされる環境は感染を拡大させるリスクが高いとしています。

関連サイトのご案内

以下、各官公庁HPの関連情報もご覧ください

厚生労働省

●新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00007.html

●新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

●新型コロナウイルス感染症に係る時間外労働等改善助成金（テレワークコース、職場意識改善コース）の特例について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09904.html

●新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金の特例措置の拡大について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09941.html

●新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業等に伴う保護者の休暇取得支援（新たな助成金制度）について

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09869.html

経済産業省

●新型コロナウイルス感染症関連特設ページ

企業への影響を緩和し、支援するための施策について

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

中小企業庁

●新型コロナウイルスに関連した感染症対策情報

資金繰り支援（セーフティネット貸付・保証等）やサプライチェーンの棄損等に対応するための設備投資・販路開拓支援、経営相談窓口の開設など、中小企業・小規模事業者向けの取り組みなど。

<https://www.chusho.meti.go.jp/corona/index.html>

●新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する官公需における配慮について

<https://www.meti.go.jp/press/2019/03/20200303009/20200303009.html>

その他

●首相官邸：新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

●内閣官房：新型コロナウイルス感染症ポータルサイト

https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

●内閣府：企業主導型ベビーシッター利用者支援事業における「ベビーシッター派遣事業」の令和元年度の取扱いについて

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/sitter_atsukai.html

基本性能を
追求した
Proの最高峰。

RICOH
imagine. change.

多様化するニーズに対応し、ハイクオリティな印刷を続けられるタフな生産機。
生産性を高める高速出力、滑らかな高画質、高精度なレジストレーション、
幅広い用紙対応力など磨き上げた基本性能に加え、新技術 IQCT* for High-End による印刷品質の自動安定化と
印刷前の調整作業の省力化により、デジタル印刷ビジネスを強力にサポートします。
リコーの新たなフラッグシップモデル RICOH Pro C9200 シリーズの登場です。



RICOH Pro C9210/C9200

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C9210 にオプションを装着したものです。

プロ、体感。 RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース RICOH Proをはじめ、プロダクションプリンティングビジネスの新たなソリューションをご覧ください。またDTPセミナーも定期的に開催中。
お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。

この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスであるRICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。 * iPhone/iPad/Android™ アプリケーション「RICOH CP Clicker」(無料)をダウンロードし、
広告を撮影(クリック)すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧ください。

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝3-8-2

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



**四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー
AFC-566FKT+PST-44**

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



**自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-480**

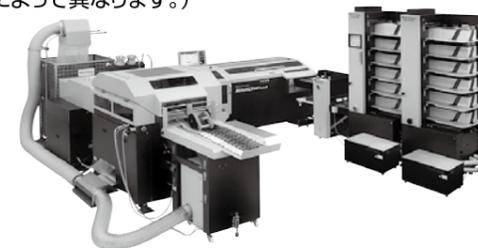
セット替えの高速化による、小ロット、バリエーション製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリエーション製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



PUR
対応

**ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner MarkⅢ**

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



**全油圧断裁機
APC-610**

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス



多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

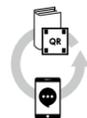
快適なユーザ体験をもたらす
多彩で豊富な機能を搭載



テキストウィンドウ表示



自動音声合成機能



SNS連携機能



ログ解析機能



配信エリア指定



本文検索機能



高性能翻訳エンジン



モリスワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

www.morisawa.co.jp

詳しくは

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

お知らせ

令和2年4月1日

会員各位

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
会 長 中 村 耀
(公印省略)

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 第55回定時総会開催通知

冠省 定款第14条の規定にしたがい、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会第55回定時総会を下記の要領によって開催いたしますので、ご案内いたします。

草々

記

- 1. 日 時 令和2年6月6日(土) 午後3時30分～
- 2. 場 所 東京都・ジャグラ本部 ニッケイビル八階
(書面総会としますので会員の皆様は同封の委任状を送付してください)
- 3. 議 題

第一号議案	第55年度事業報告書の承認に関する件
第二号議案	第55年度収支決算書の承認に関する件
第三号議案	第56年度事業計画書の承認に関する件
第四号議案	第56年度収支予算書の承認に関する件
第五号議案	任期満了に伴う役員改選に関する件
第六号議案	その他に関する件

以上、ご通知申し上げます。

補足事項

- 1. 総会資料の送付 会議の目的たる事項(議案)は変更する場合があります。会議の目的たる事項及びその内容(総会資料)をもって最終案内とさせていただきます。
- 2. 動議の提案手続き 会員は、所属支部長の承認を得て、総会に議案または決議案を提出することができます。この場合、支部長は、その内容を総会開催日の10日より前に会長あて書面をもってあらかじめ提出しなければなりません。(総会運営準則による)
- 3. 委任状提出のお願い ジャグラ定時総会の開催方法は代議員制ではありません。全会員が出席(書面出席も有効)して開催されるものになっていますので、総会の委任状を提出して下さいますようお願いいたします。
是非、委任状を提出下さるよう重ねてお願いいたします。

以上

委任状は本誌に同封いたしますので是非ご利用ください

理事会&委員会通信 ジャグラの活動報告です

総務委員会、第五回理事会（書面理事会） 議事録より

ジャグラの諸会議や活動内容について、理事会や各委員会の議事録掲載を通してご報告いたします。

×

3.19 総務委員会 / 大阪

1. 次年度事業及び委員会構成について

委員会構成案をもとに検討をおこなった。委員会構成は総務委員会の下に、ビジネス拡大事業、経営基盤事業、コミュニケーション事業、広報事業、コンテスト事業、クロスメディア研究事業の6個の事業に再編する。そして各事業の下に委員会が設置される形となる。各事業の担当は以下のとおり。担当副会長は委員長候補を事務局まで連絡する。調整の上、総務委員会で委員長を決める。委員長決定後、4月末までに各委員会が趣意書を作成する。

ビジネス拡大事業（岡本副会長）、経営基盤事業（宮崎理事）、コミュニケーション事業（熊谷副会長）、広報事業（清水理事）、コンテスト事業（岡澤副会長）、クロスメディア研究事業（谷川理事）

【決定事項】

- ◎委員長および委員はなるべく重複を避ける。
- ◎三役会および委員長会議は不要。危機管理委員会は総務委員会に含める。
- ◎CSR、BCPは単独の委員会ではなく、経営技術研究委員会に含める。
- ◎個人情報保護委員会担当を清水理事から別の人に変更する。
- ◎趣意書をもとに委員メンバーを公募する。（担当副会長、委員長が判断する）

2. 次年度予算案について

不安要素として、会費の収入減少、コロナウイルス等の影響でDTP教室およびPマーク収入の減少、法人税の支払いなどがある。事業を仕分けし、予算を削減したため来期の財政は健全化に向かっている。限られた予算でできるだけ多くの成果が上げられるように活動する。

【決定事項】

- ◎DTP教室のPC購入は買取りではなく5年割賦にする。
- ◎CSR、BCPの予算として10万円を経営技術研究委員会に上乘せする。

3. その他

①全国中央会補助金事業について

全国中小企業団体中央会で実施する補助事業「中小企業組合等課題対応支援事業」の募集が3月2日より開始された。内容は中小企業活路開拓事業、組合等ネットワークシステム、研修事業等がある。申請できるのは企業組合、事業協同組合など。任意グループも対象だが、設立後2年経過しており、決算書類等が整備されていることが条件（最大6分の10助成）。

検討の結果、研修事業（展示会出展）の補助事業を検討する。出展する展示会の候補とスケジュール、予算案を作成する。

②ジャグラ文化典高知大会について

西村啓ジャグラ高知大会実行委員長が臨席し検討を行った。その結果、新型コロナウイルス感染症の予防を十分に行い、実施することになった。しかし、感染症の問題で参加者が減少する可能性があるため、損益分岐点を明確にするよう実行委員会に指示した。大会開催については、今後大きな変化があれば再検討する。

以上

日時：3月19日（木）
 場所：リファレンス大阪駅前第4ビル
 出席：谷川聡理事（委員長）、山本耕司副会長（担当役員）、中村耀会長、岡澤誠副会長、岡本泰副会長、清水隆司理事、宮崎真理事、沖敬三専務理事
 臨席：西村啓（高知大会実行委員長）、並木清乃事務局長

3.19 第五回理事会→書面理事会として開催 次年度の事業計画（案）&収支予算（案）を承認

新型コロナウイルス感染が蔓延してきていることを受けて、ジャグラでは多数が集まる会議等の中止または書面開催や小さい会議ではネット会議等の開催でリスクの低減を図っているため、3月19日開催予定であった第55年度第五回理事会は書面理事会として開催した。3月に開催する理事会は次年度の事業計画、収支予算は年度開始前に決定しておく必要がある。併せて定時総会に提案する議案についても承認した。

×

予め理事会構成員に資料を郵送、書面での表決を集めるかたちで開催した。

第一号議案第55回定時総会の議案に関する件

【提案内容】

きたる令和2年6月6日開催の第55回定時総会の議案は次のようにしたい。

- 第一号議案 第55年度事業報告書の承認に関する件
- 第二号議案 第55年度収支決算書の承認に関する件
- 第三号議案 第56年度事業計画書の承認に関する件
- 第四号議案 第56年度収支予算書の承認に関する件
- 第五号議案 任期満了に伴う役員改選に関する件
- 第六号議案 その他に関する件

【検討の経緯】

第一号議案は満場一致で承認した。

第二号議案 第56年度事業計画（案）の決定に関する件

きたる令和2年6月6日開催の第55回定時総会に提案する第56年度事業計画（案）を決定したい。

（計画掲載は省略→後日郵送の総会資料をご覧ください）

【検討の経緯】

第二号議案は満場一致で承認した。

第三号議案 第56年度収支予算（案）の決定に関する件

きたる令和2年6月6日開催の第55回定時総会に提案する第56年度収支予算（案）を決定したい。

（予算案掲載は省略→後日郵送の総会資料をご覧ください）

【検討の経緯】

第三号議案の報告は承認した。

第四号議案 その他に関する件（提案内容）

1) 役員候補者に関する中間報告

令和2年役員候補者一覧（案）

以下、省略

【検討の経緯】

第四号議案の報告は承認した。

以上で全ての議案の書面審議を終了した。

以上

【出席】
 (会長) 中村耀
 (副会長) 熊谷正司、岡澤誠、菅野潔、岡本泰、山本耕司、中越忠男
 (専務) 沖敬三
 (常務) 守田輝夫
 (理事) 渡辺辰美、向井一澄、宮本誠、尾形文貴、清水隆司、早坂淳、齋藤秀勝、青木滋、吉澤和江、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、高橋広好、谷川聡、岩下登、宮崎真、本村豪経、松本徹、齋藤隆正
 (監事) 佐藤順、松永英明、前沢寿博

【欠席】 なし

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

- 特長1** 掛金が割安です（例：30歳男性、1口277円/月）
- 特長2** 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3** 事故による入院もワイドに保障
- 特長4** 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます
- 特長5** 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで **Tel.03-3667-2271**

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



SHOWA

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ **ユーザー会で密に情報交換**

SHOWA会

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149

株式会社 **ショーワ** **プリントメディアの総合商社**
<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社
なんでも相談窓口
プリントデスク ☎0120-269-132
平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

お知らせ

4月から働き方改革本格始動

働き方改革は昨年より施行されていますが、中小企業にとってはこの4月から本格始動となります。様々な報道で、すでに対応している企業もあると思いますが、具体的に何をすれば良いのか、厚生労働省では専用サイトを開設して周知徹底を図っていますのでご活用ください。

×

働き方改革が目指すものとして厚生労働省のウェブには以下のように記されています。

我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。

働き方改革は、そもそも日本の人口減、労働者数の減少を背景とした労働力不足の解消が目的の一つとされています。それに対応する施策の一つである一億総活躍社会は平成27年に発表された新・三本の矢の一つです。この一億総活躍社会の実現を目指すために、高齢者や女性の労働力を増やそう、そのために多様な働き方を認めよう、というのが概要と言えます。

厚生労働省の下記専用サイトでは、関連法について、助成金のご案内、相談窓口、関連資料、中小企業事例集などが参照できますので、一度ご覧になってみてください。

<https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/index.html>



Column

利益の追求で働き方改革進める

e-中小企業ネットマガジンVol.920より転載 (http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html)

利益を追求した結果、敢えて事業規模を縮小させ、働き方改革につながった中小企業がある。工場やプラント、建設現場などから排出されるコンクリート・金属・ガラスくず、廃油・廃プラスチック、がれきなどの産業廃棄物を収集・運搬して処理するケーイーティ（福島県矢吹町）である。

創業は2000年。2003年に福島県の産業廃棄物収集運搬業許可を取得し、2008年に千葉県、2011年に長野県に支店を設けた。事業エリアは東北だけでなく関東甲信越、北陸地方まで広がり、ピーク時は運搬車両37台と社員約50人を抱えた。ところが首都圏を中心に他社との価格競争が激化し、粗利が低下した。車両と社員の急増に伴い、車両・労務管理が煩雑化した。車両運転の長時間化により運転手が疲弊し、時間外手当や宿泊費も急増した。

これに対し、川田裕社長は「投資効率の悪い地域やサービスから撤退する」ことを決断。2014年に両支店を閉鎖、地元・福島と隣接県（茨城、栃木、群馬、山形、新潟、宮城）および埼玉県に事業エリアを絞り込み、遠方については他社に業務を委託することにした。また新規営業活動を停止し「粗利を20%以上確保できない案件は受注しない」ことを徹底。代わりにホームページを刷新し、新規顧客はネット経由で獲得することにした。事務処理も徹底してIT化を進めた。

この結果、2014年3月期は2.3%だった営業利益率は、2015年3月期に6.1%、2016年3月期は8.7%、2017年3月期は10.3%と急激に上昇。事業範囲を縮小したことで、運転手の月平均労働時間も、2016年3月期は241時間、2017年3月期は225時間、2018年3月期は211時間、2019年3月期は204時間と減少した。新規営業に関わる訪問・移動がなくなり、事務処理作業も大きく減少。結果的に営業・事務担当者の労働時間も大きく削減した。

川田社長は「働き方改革を社員にどう理解させるかに苦労した」と振り返る。実際、労働時間を減らす方針を伝えると、年取が下がってしまうという不安が社員の間に広がった。そこで「前年度の年収を保証する」ことを明確化。半期ごとに前年比を確認しながら、労働時間が減っても年収は下がらないよう調整している。さらに年次有給休暇を半日や1時間単位でも取得できるようにし、65歳以上でも継続して働けるようにした。

現在は「有給休暇取得率の向上」と「残業時間の削減」を全社目標に据え、6年後の残業ゼロを目指している。「最初に働き方改革があったわけではなく、利益を追求しようと考えた結果が働き方改革につながった」と川田社長。同社の取り組みは、まさに「働き方改革は結果として儲かる」ということを証明したといえそうだ。

法律相談ネットワーク 「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかると言われており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラー会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご参加をお待ちしております。

法親会・会長 添田隆男 (株式会社サンライズ / ジャグラー18代会長)



法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要

- 専任 今西一男 弁護士
- 会費 20,000円/年 (税別)
※年度途中入会は月割換算 (年度末12/31)
- 会員特典 ① 無料相談 (随時)
※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応
② 情報交換会 (適時開催)
- 事務代行 (入会申込先・問い合わせ先)
一般社団法人日本グラフィックスサービス工業会・事務局
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001
電話 03-3667-2271
ファクス 03-3661-9006

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

フリガナ	フリガナ
社名	氏名
住所	〒
Tel	Fax
	E-Mail

お知らせ

第8回 2021 丑年
年賀状デザインコンテスト
募集を開始!

——詳細は本号同封リーフレット&特設サイトで

ジャグラは、2021 年向け年賀状デザインコンテストを実施し、優秀作品を表彰します。募集部門は「カラー部門」「モノクロ部門」「学生部門」「喪中案内部門」4 部門で、賞金総額は 70 万円 (表彰 100 点)。選出した優秀作品はジャグラ会員企業の年賀状ビジネスに無償でお役立ていただきます。概要は下記の通りです。

×

【表彰】

- 会長賞
 - カラー部門 1 点 (5 万円)
 - モノクロ部門 1 点 (5 万円)
 - 学生部門 1 点 (3 万円)
- 喪中部門賞 2 点 (5 千円)
- 協賛企業賞 10 点 (1 万円)
- 優秀賞 7 点 (1 万円)
- 作品賞 78 点 (5 千円)

【スケジュール】

- 募集期間 2020.4.1 (水) ~ 6.21 (日)
- 発表 2020.7.21 (火)

【特設サイト】

<https://www.jagra.or.jp/nenga2021/>

印刷・紙づくりを支えてきた
34人の名工の肖像
雪朱里 著 / グラフィック社

同社発行『デザインのひきだし』で好評連載中の連載「名工の肖像」。日本の印刷や紙づくりを支えてきた凄腕の職人や技術者にその仕事について、心がけて来たことについて丁寧に取材し、迫力ある写真とともに紹介しているこの連載を書籍化。書籍用に分かりにくい専門用語には注記を入れ、新規取材も加え、活字や文字・組版などの印刷前行程から、紙、製版、印刷、製本まで、印刷物をつくる分野を網羅した名工たちの貴重な記録。

●内容

【文字や組版を手掛ける人々】

種字彫刻師、母型製造販売、タイトルデザイナー、活字母型開発技師、モノタイプ活字鑄造、活字鑄造職人、植字工。手動写植オペレーター

【紙を手がける人々】

ファンシーペーパー開発者、抄紙

BOOK | 書籍案内 |



機職人、揉紙職人、漆紙職人
[製版・印刷を手がける人々]
自動面付製版カメラ発案、特色インキ調色師、金銀インキ調肉師、活版印刷職人、オフセット輪転印刷機職人、プリンティングディレクター、高級美術印刷摺り師、コロタイププリンター、ノート企画開発

【製本・加工を手がける人々】

手差しラミネート加工、工業彫刻職人、箔押し職人、転写シール製造、断裁・型抜き加工職人、製本資材販売、製本マイスター、製本職人、紙工職人、本函製造、印刷物収集家



▲ジャグラ会員の機河工業社・和田和二さんも名工の一人として掲載されています

- 仕様：A5 判、352 頁、並製本
- 定価：2500 円 (税別)

お知らせ | 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内

広報部会 (早坂淳部会長) では、本誌『グラフィックサービス』の印刷製本業務 (本年 7 月号より 2 年間) を請け負っていただく会員企業を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します (取材編集・短納期・発送・環境・UD など何でも結構)。下記仕様をご確認のうえ、見積書 / ご提案書を 5 月 14 日 (木) までに郵送 (必着) またはご持参ください。

…………… 本誌仕様 ……………

- ①判型：A4 判 ②頁数：32 ページ以上 (表紙込)
- ③色数：表紙 4 色 + 本文 1 色
- 注) ②③は最低限の仕様です。ページ増、本文の一部または全部をカラー刷りとする提案も受け付けます。
- ④校正：表紙・本文とも PDF によるネット校正で可
- ⑤入稿：Adobe CC 生データでネット入稿
- ⑥印刷：印刷業者が構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること (紙版不可)。
- ⑦部数：1300 部 ⑧納品：ジャグラ事務局 & 発送会社
- ⑨納期：校了後 7 営業日以内に発送すること (厳守)

⑩備考：印刷・製本については、その種類 (オフセット / オンデマンド、無線綴じ / 中綴じ) を問いません。

●求められる制作環境

- ① Adobe InDesign 生データでの入稿となります。毎回、誤植などの修正作業が発生するので、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須です。
- ② ネット入稿となりますので、自社サーバー必須です。(レンタルサーバー可。gigafile 便等の汎用サービス利用不可)

●見積書 & ご提案書 (様式不問) について

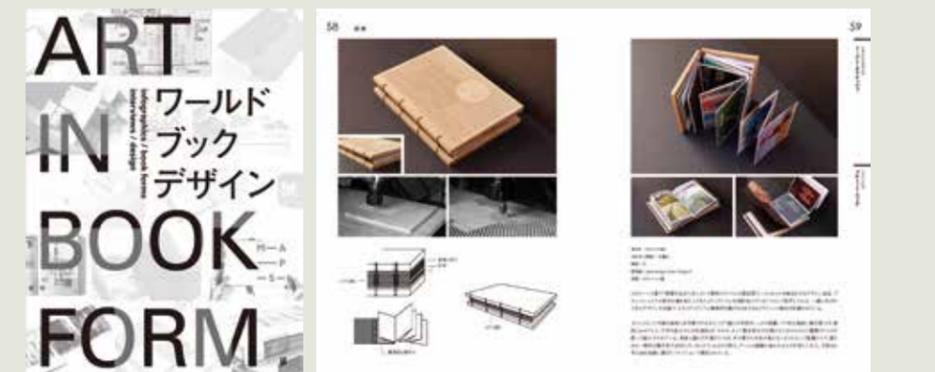
- ① 「印刷・製本」の見積書としてお願いします。
- ② 「印刷・製本」以外 = 取材、制作 (編集)、発送などのご提案については別見積りとしてください。
- ③ 本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料 (予算書) などをご参考のうえ、ご応募ください。

●問い合わせ・送付先

ジャグラ事務局・守田まで
tel.03-3667-2271 / E-mail edit@jagra.or.jp

ワールドブックデザイン
グラフィック社編集部 編

全世界からこだわりぬいた装幀、製本、造本のブックデザインを集めた、貴重なリファレンス集。詳細スペックや図解とともに、各デザイナーのコンセプトや狙いをあますところなく公開。アイデアソースや具体的なサンプル事例として役立つ内容の一冊。装丁・製本・造本分野での工夫は、電子書籍などでは実現できない「紙媒体」だけの専売特許！自費出版など個性溢れた本づくりの参考になるでしょう。



- 仕様：B5 変形判、240 頁、並製本
- 定価：3900 円 (税別)



騰写版と私

次回より「騰写版の“これから”」をテーマとした連載を始めます



Atelier 10-48 主宰
版画家
神崎 智子



本誌『グラフィックサービス』では、これまで山形騰写印刷資料館の所蔵品紹介を中心とした内容で、同館・後藤館長に『温孔知新』と題したエッセイを依頼、先月号でめでたく25回に亘る連載が完結となりました。作品の紹介を通して、私たちの先達が如何に優れた技術と熱意を持って軽印刷という産業を立ち上げ、社会に貢献してきたか、皆様におかれましても再確認されたことと思います。

『温孔知新』は主に「過去にさかのぼる視点」で描かれましたので、今度は「現在から未来」における騰写印刷の在り方を探ろうと、版画制作という芸術活動を通して騰写印刷を今に伝えている神崎智子さんに新しい連載をお願いすることになりました。今月は新連載のキックオフ企画として自己紹介をしていただきます。(編集部)



神崎さんが運営する騰写版専門サイト
10-48.net (トーチャドットネット)

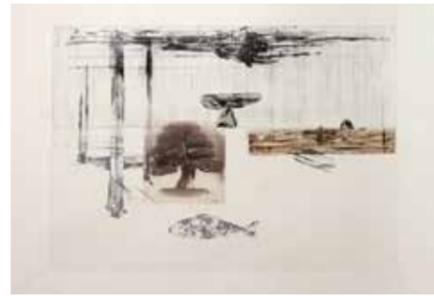
ジャグラの皆さん、こんにちは。版画家の神崎智子です。この度『グラフィックサービス』編集部より、「騰写版の“これから”」をテーマに連載のお話をいただき、執筆することとなりました。私は、皆様のような印刷業の専門家でもない「版画家」ですので、業務として騰写版と向き合っていた皆様とは目線が違うかもしれません。「あいだの芸術」つまり「版画」を嗜む作家の目線でお送りいたします事、どうかご承知いただき、お付き合いよろしくお願いたします。

10-48.net と騰写版との出会い

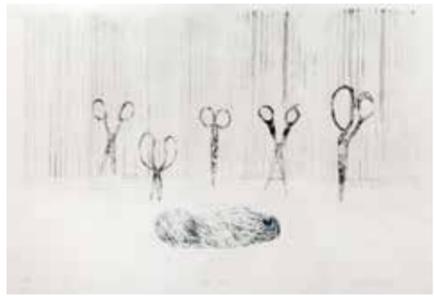
私は 10-48.net (トーチャドットネット) という騰写版専門の Web サイトを作り、騰写印刷による版画についてお知らせする活動をしています。本当は「TO-SHA」というドメインを取りたかったのです。。インターネットのアドレスのことですね。

そのドメインが開設当時取れなかったので、「騰写」を連想させる「10-48」で取り直したというのがサイトのネーミングの由来になります。これはかれこれ12年くらい前の話です。

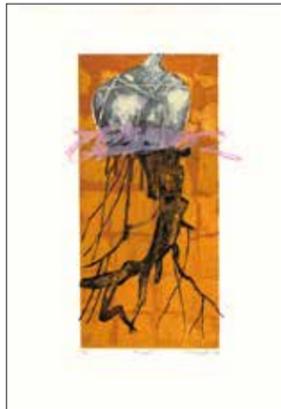
私は大阪生まれで、2006年に京都精華大学芸術学部版画専攻卒業後、騰写版版画を制作し始めます。その2年後の2008年より、騰写版専門サイト 10-48.net を開設しました。



【図1】 He said "The pond should be shallow" no.2
ポリマー版画 / 788 × 1100mm
大学時代の作品 2005年



【図2】 Scrap book
騰写版 / 640 × 970mm
『騰写版の冒険』展への出展作 2009年



【図3】 Root
騰写版
297 × 210mm
2016年



【図4】 Composition of weed
騰写版 / 640 × 970mm / 2016年

『He said "The pond should be shallow" no.2』(図1)は2002～2006年頃、京都精華大学時代の私の作品です。この頃は騰写版ではなく、ポリマー版画と言われる割と新しい版画手法でやりました。武蔵篤彦先生という版画家がいて、ポリマー版画や水なし平版とか感光性樹脂版を使用した、今の印刷現場にある版を使った版画制作を積極的に進めていった方になります。おそらくジャグラの会員の皆様でしたらおなじみの版材かと思います。

制作工程で環境に優しいとか、(銅版画に使うような劇薬) 廃液が出ないとかそういった観点で制作を進めていった経緯がありまして、その先生のもとで版画制作をやっておりました。私は当時から印刷の版材を使った版画制作を行っていたことになりました。

私が騰写版に出会ったのは学生時代だったんですけど、実際に騰写版による版画制作を始めたのは、卒業後のことです。当時は、インターネット上での情報収集であるとか、(騰写版の) 仲間が全然いない状態だったので、技術的にどのようにやっていいかわかりませんでした。そのため、初めての作品は1年ぐらいかけて、本当に1作品作るのに1年かかった状態でした。でもなかなか面白い。様々な表現ができるのだなと感じていました。

当時私はホームページを作る会社に居ましたが、お客さんにサイト制作を案内するために、自分の制

作実績として作った練習サイトのひとつが 10-48.net だったんです。ホームページを作るシステムとして MovableType という CMS (コンテンツマネジメントシステム) があるんですが、その制作練習として、騰写版の紹介サイトを作ったのです (今は WordPress を使っています)。

でも練習サイトなので、ほったらかしだったんです。それでも結構見てくださる人がいて、情報を求めている方には刺さるようなものだったらしく、今では続けて良かったかなと思うものになりました。

ターニングポイントは「騰写版の冒険」展

2013年、「騰写版の冒険」という和歌山県立近代美術館の企画展で、作品を展示させてもらうことになりました。この時期は騰写版自体にフューチャーして版画制作を行っている方も少なかったこともあり、私は細々と続けている作家だったのですけれども、やっぱりこの展覧会に参加することができて、10-48.net の活動を行ううえでも、私の中でひとつのターニングポイントとなった展覧会になります。

『Scrap book』(図2)はこの時に出品した作品です。この作品からどんどん時を得てこれぐらいの作品(図3)になってくるんですけど、随分、表情が変わってきて。当時は線描画が多かったんですけどもツブ



ワークショップでの制作の様子

シ製版という塗りつぶしのような製版も対応できるようになっていきます。今はこのような大きな作品を作るようになりました(図4)。

現在、私の活動としては版画制作の傍ら、アトリエ内で講座を行ったり、町田国際版画美術館で講師としてお呼びいただいてワークショップをやったり、技術調査を行ったり版画資材のことを調べたりなどしています。作家さんの家におじゃまして、写真を撮らせてもらってということもやっています。

連載のテーマについて

これから執筆する連載では、テーマである「謄写版の“これから”」のことを中心に展開いたしますが、

検証のための事柄、つまり「これまで」のことも多少織り交ぜつつ書いていく予定です。日本の謄写版については皆様や前連載の「温孔知新」を見ていただく方がきっとお詳しいと思いますので、版画のことやアーティストが謄写版を使用した例、海外謄写版のことなどをご紹介できればと考えています。

では、これからよろしくお付き合いください。

こちらの記事内容は YouTube でも配信中!
講演「謄写版のこれまで・これから」
 2019年11月16日 10-48TALKS vol.1
<https://youtu.be/-Ea5P1uFHNs>



昨年末にアトリエにて開催した企画展「MEETS TO-SHA」の様子



複式刷り台での刷り実演



スケッチブックで製版の仕組みを説明

JARFO (京都藝際交流協会 / 京都) での公開実演の様子

YouTube でも動画配信中です!

10-48 謄写版版画 Mimeograph Printmaking

<https://www.youtube.com/user/1048net>



Atelier 10-48 (アトリエ トーシャ) 東京都小平市鈴木町 1-30-95

書籍『10-48 謄写版のこれまで・これから』好評発売中!

神崎智子さんが『10-48 謄写版のこれまで・これから』と題した書籍を刊行しました(A5判 200頁・税込 3980円)。自身の作品紹介にとどまらず、謄写印刷が日本でどのように普及発達してきたか、海外における謄写印刷アートの状況等々、神崎さんがこれまでに見聞きしてきたことを網羅した充実した内容で、刊行に際しては、ジャグラも写真を数点提供する形で協力し、クレジットにも明記していただいております。

ご承知のとおりジャグラの祖は謄写印刷にあり、神崎さんのようなアーティストがその技術を作品という形で世の中に発表することは、間接的に私たちの先達にスポットライトが当たることに繋がります。

書籍は10-48 オンラインセレクトショップ (<https://1048.shopsselect.net/>) よりご購入いただけます。こちらでは神崎さんの作品はもちろん、原紙や鉄筆などの機資材も販売しています。ぜひ覗いてみてください。(編集部)



3月の事務局日誌

- 3日 4団体懇親会→開催中止
- 6日 東グラ理事会→沖専務(書面理事会)、日本プリンティングアカデミー評議員会(JPA)→吉岡理事(書面会議)
- 11日 日印産連ステアリングコミッティ(日印産連会議室)→開催中止、日印産連専務理事連絡会議(日印産連会議室)→沖専務
- 12日 JAGAT理事会(JAGAT)→欠席
- 17日 プライバシーマーク審査会
- 18日 ジャグラコンテスト部会(本部)→ネット会議に変更
- 18日 教育・技術委員会(本部)→開催中止、日印産連理事会(日印産連会議室)→中村会長・菅野副会長(書面理事会)
- 19日 拡大理事会(本部)→(書面理事会)、ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会(本部)→開催中止、総務委員会(リファレンス大阪駅前第4ビル貸会議室)
- 24日 広報部会(本部)

4月のスケジュール

- 1日 プライバシーマーク現地審査(秋田)→延期
- 6日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 7日 プライバシーマーク現地審査(大阪)、ジャグラコンテスト専門委員会議(ネット会議)
- 10日 作品展第一次・二次審査委員会(本部)→延期
- 13日 プライバシーマーク現地審査(福島)→延期
- 14日 プライバシーマーク現地審査(福島)→延期、総務委員会(ネット会議)
- 17日 作品展最終審査委員会(本部)→延期
- 20日 プライバシーマーク現地審査(大阪)→延期
- 21日 プライバシーマーク現地審査(大阪)→延期
- 22日 総務委員会(ネット会議)
- 23日 定期監査(本部)
- 24日 ジャグラコンテスト部会(ネット会議)、拡大理事会(本部/一部ネット会議)、拡大理事会・懇親会→開催中止
- 25日 SPACE-21幹事会(リコージャパン(株)名古屋事業所)→延期、SPACE-21総会(リコージャパン(株)名古屋事業所)→延期

5月のスケジュール

- 11日 プライバシーマーク審査員フォローアップセミナー(日本印刷会館)
- 15日 東北地協総会(書面会議+東北地協幹事会/仙台)、シタラフェア2020→開催中止
- 16日 四国地協総会(高知)→中村会長
- 18日 プライバシーマーク審査会
- 20日 マスターズクラブゴルフ大会(茨城ゴルフ倶楽部)、プライバシーマーク現地審査(川崎)
- 21日 日印産連理事会(日本印刷会館)→中村会長・菅野副会長
- 22日 北海道支部総会(札幌第一ホテル)→菅野副会長

事・務・局・便・り

桜が咲き美しい季節になりました。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で休みの日も自宅にこもらなければならず、気軽に人と会うことができなくなりました。コロナでコミュニケーションのあり方も変わりますね。ジャグラも会議の多くがネット会議になりました。大変な日々ですが皆で乗り切りましょう。(K.N)

GS

月刊
グラフィックサービス
No.821
2020
04

月刊「グラフィックサービス」821号

- 発行日 令和2年4月10日(毎月1回)
- 発行人 中村 耀
- 編集人 早坂 淳
- 発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

- 沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
- 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
- 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
- 斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
- 藤尾 泰一 (南インフォ・ディー/広報委員)
- 日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎組版/デザイン (南インフォ・ディー)

- 組版 = Adobe CS6/CC ほか
- フォント = モリサワ OTF ほか

◎製版/印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

- RIP = 大日本スクリーン Trueflow
- CTP = 富士フィルム XP-1310R
- 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
- 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
- インキ = DIC
- 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
- ※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2020 JaGra / 禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
また、原則 TM・®マークは省略しています。
※乱丁/落丁本はお取り替えいたします。

ジャグラBB HOT NEWS



ジャグラBBなら在宅でも学べます! ▶最新情報はWebをチェック <https://www.jagrabb.net>



せんとくん通信「鹿と人との共生を目指す取り組み」(奈良県支部(株)新踏社)

2019年9月4日奈良テレビにて放映された「せんとくん通信」で新踏社(ジャグラ奈良県支部)の取り組みが取り上げられました。その模様をジャグラBBにて配信中です。【配信許諾済】
時間:9分40秒 無料番組



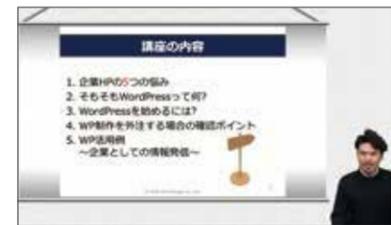
新・ビジネスマナー入門【プレ公開版】

新社会人のビジネスマナー教育に役立つ新番組「新・ビジネスマナー入門」の配信が近日スタートします。正式公開に先駆け、今回第1章~2章を先行配信! 新人教育に今すぐご利用ください。
時間:38分2秒 会員限定番組



「ビジコン!2019」入賞作品プレゼンテーション

東京グラフィックス主催「ビジコン!2019」のファイナルプレゼン大会が2月17日に開催され、入選者によるプレゼンテーションが行われました。その模様をお届けします。
時間:1時間26分 無料番組



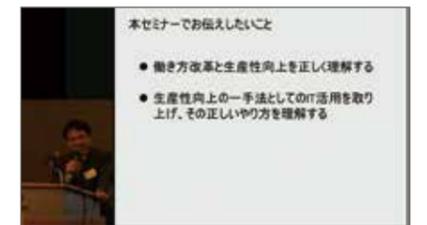
WordPress初級講座『ワードプレスって何ができるのだろう?』

誰でも無料で利用できる人気のウェブ作成ツール「WordPress」。本番組では、WordPress初心者の方の方向けに、WordPressとは何か、どんなことができるかをわかりやすく解説します。
時間:59分10秒 会員限定番組



生産性向上は働き方改革であり経営改善である 講師:稲満信祐氏

2019年11月開催ジャグラ全国協議会セミナー。イナミツ印刷・稲満信祐氏を講師に迎え、それまで赤字体質だった自社を社長就任後にV字回復させるまでの取り組みについてお話しいただきました。
時間:42分52秒 会員限定番組



生産性向上のための「気づき」と「工夫」 講師:中高英明氏

2019年11月開催ジャグラ全国協議会セミナー。中小企業診断士・中高英明氏を講師に迎え、働き方改革と生産性向上を実現するために企業が取り組むべき事柄についてお話しいただきました。
時間:1時間29分 会員限定番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp

スマホで撮影した動画も受付けます!

スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから https://www.jagrabb.net/app_mail.php

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

品質検査

濃度追従

見当調整

— ^み 視て、判断して、制御する —

PQS-Dがあなたの眼になる。

損紙を減らすことが求められる刷り出しの見当調整。
本刷り中の印刷障害や濃度変化に気を遣い、印刷物と
ずっとにらめっこ。神経をすり減らし、息つく暇がない
のが今の印刷現場です。

RMGTの印刷品質管理システム PQS-D は印刷機上の
CCD カメラがあなたの眼となり、刷り出しから刷り
終わりまで、絶え間なく印刷物を監視しつづけます。
品質検査はもちろん、濃度追従や自動見当調整の機能
が、オペレーター^{たす}を援けます。



印刷機上の CCD カメラが印刷中の用紙を監視

RMGT ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鶉飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>